

＜創造館の休館日＞
2月11日(金)

乳幼児親子対象

ハリー・ポッターと 謎のプリンス

日時 2/27(日) 午後1時30分～
場所 子ども未来創造館 音楽スタジオ
定員 申込み 参加費 持ち物 なし

★2/6～3/5のカレンダー★

乳幼児親子と小学生対象

日にち 2/17(木)・20(日)
時 間 :午後2時～
定 員 持ち物 参加費 申込み なし

※合同ひなまつりは50円かかります。

問い合わせ先 ☎72-6053
富士河口湖町船津1754

日	月	火	水	木	金	土
つどいの広場では、㊟子育て相談・㊟栄養相談を行っています。日常のふとした疑問を解消する為にお役立て下さい。						
6 こども新聞 中高生 バレンタイン教室	7 つどいの広場 親子ふれあい教室A	8	9 つどいの広場	10 リトミック	11 休日	12 funfunくらぶ
13 フラワー アレンジメント funfunくらぶ	14 つどいの広場㊟	15	16 つどいの広場㊟ 親子ふれあい教室B (園生ふれあいドーム)	17 こどもらキッズ つみ木パーク	18 つどいの広場 こどもらベビー	19 ひらめき アーティスト
20 つみ木パーク	21 つどいの広場 親子ふれあい教室B	22	23 つどいの広場㊟	24 こどもらママベビー	25 つどいの広場㊟ おもちゃホスピタル	26 funfunくらぶ
27 アロマ 森の映画会	28 つどいの広場㊟	3/1	2 つどいの広場	3 合同ひなまつり	4 つどいの広場	5 こどもん

申し込みが必要な教室もあります。内容・詳細は子ども未来創造館までお問い合わせください。また、各種教室のお申し込みは**申し込み当日の12時から**電話(72-6053)と生涯学習課窓口・子ども未来創造館窓口でも受け付けますので、お気軽にお尋ねください。

※教室申込みの際、友人の分の申込み等は出来ませんので、ご了承下さい。

生涯学習館

11日(金)は祝日のため、25日(金)は館内整理日のため休館です。

開館時間 平 日 10:00～19:00
土・日 9:00～17:00

P ←このマークがついているイベントはとしょかんパスポート対象事業です。パスポートを持って参加してね!

富士山講座 「富士の雪形を楽しむ」

私たちの身近な山・富士山。そんな富士山の魅力を知ることができる講座です。今回の講座はこれまでの富士山講座に参加されていない方でも聴講ができます。一緒に富士山の雪形の美しさを堪能しませんか?

2月20日(日) 午後2時～
生涯学習館 学習室1

参加希望の方はお電話もしくは窓口までお申込みください。【TEL 73-1212】

特別展示「富士山の雪形を楽しむ」
2月1日(火)～2月24日(木)
生涯学習館 学習室1

佐藤英和講演会

優れた書籍出版・出版文化への貢献の見地から、昨年新聞社・学芸文化賞を受賞したこぐま社会長の佐藤英和氏の講演会です。

おなじみ「11ぴきのねこ」についてのおはなしが聞けます。佐藤さんの絵本への熱い情熱が伝わる講演会です。絵本が好きな人・絵本に興味がある人は必見!

「11ぴきのねこ」の絵本の展示もします。
講演を聴きに来る前にぜひ読んでみて下さい。

日時: 2月26日(土) 午後1時30分～
場所: 中央公民館

*託児あり。希望者は2月24日までに申込みください。

お問い合わせ: 生涯学習館 【TEL 73-1212】

親子で工作あそび

日時: 2月23日(水)
午前10時30分～
場所: 生涯学習館 学習室1

切ったり、貼ったり、塗ったり…
ママと一緒に楽しもう!

図書館入門講座

2月4日(金)
午前10時30分～

図書館の有効利用法をご案内します!
普段は見られない閉架書庫やブック
ポスト内部の見学もできます。

としょかんパスポート

提出期限

2月26日(土)～3月6日(日)

パスポートを提出してくれた人の中からマイルが多かった人10名を3月26日に行われる生涯学習館のイベントで表彰します。イベントについては次号広報を見てね!

1冊の本から見える、いろんなキモチ。

第51回読書会



日時: 2月27日(日) 午後2時～
場所: 生涯学習館 学習室1

課題: 「日の名残り」 カズオ・イシグロ/著

♪新着書案内♪



◎道教の世界/ヴァサン・ゴーセール ◎これから、中国とどう付き合うか/宮本雄二 ◎また会いたいと思われる人になるコツ/衿野未矢 ◎鳥あそび/小宮輝之 ◎安眠健康術/堀忠雄 ◎女子栄養大学のカフェテリア/小笠原章子 ◎テリヌアート/原口広 ◎よくわかる加工特産品のつくり方、売り方/鳥巢研二 ◎挑戦者たち/木俣冬 ◎ダンボールで作るかわいい動物雑貨/クロード・ジャンテ ◎勝てる石田流/鈴木大介 ◎角のないケシゴムは嘘を消せない/白河三兎 ◎傾物語/西尾維新 ◎猪瀬直樹の仕事力/猪瀬直樹 ◎やるなら決めよ決めたら迷うな/石川洋 ◎生活リハビリ術/松本健文 ◎親の仕事と子どものホンネ/バーバラ・ポーコック ◎あきらめる勇氣/村瀬孝生 ほか

◎読み聞かせ会◎

●0・1・2・3歳対象 〈午前10時30分～〉

P ブラウンベア (えいご) 2月 8日(火)

P うさぎのおやこ 2月 22日(火)

●幼児～小学生低学年対象 〈午後1時30分～〉

P パパのえほんタイム 2月12日(土)

P イトワールの会 2月26日(土)

2月の分館の予定

	開館日	開館時間	読み聞かせ会 午後4時30分～
大石・河口	火・木曜日	午後3時～6時	P 15日
上九一色	月～金曜日	午後1時～5時	P 16日



問い合わせ/生涯学習館

TEL ☎ 0555-73-1212 FAX ☎ 0555-73-1358

URL 🌐 <http://www.fujikawaguchiko.ed.jp>

E-Mail ✉ library@fujikawaguchiko.ed.jp

町の文化財紹介

いにしえとみち

富士河口湖古の小径

大石紬（おおいしつむぎ）

平成六年（一九九四）に山梨県郷土伝統工芸品に認定されている織物「大石紬」は、養蚕から手織り、加工まで一貫して御坂山系の南麓、河口湖の北岸に位置する大石から生まれる。絹特有のすべりのよさに丈夫で柔らかなさを持ち合わせる「大石紬」の織物技術の起源は、江戸時代とも奈良時代の孝謙天皇の御代に甲斐国司であった山口弥麻が、この郡内地方に養蚕と「紬織り」と称して伝承したともいわれている。より古い渡来の説としては、猿橋を作った頃の高麗の技術者とか、秦の徐福などの伝承もある。

本来であれば「紬織り」は屑繭（くずまゆ）の諸撚の糸で織られた「唐糸織り」と呼ぶのが正しいらしいが、技法を守っている「大石紬」の名で通っている。

江戸時代末期には租税として物納された。その後「大石紬」は技法改良が重ねられ、明治く大正時代の頃には絹特有の風合いの良さ、素朴さ、縞柄や無地などが好まれて、富士講の客人、行商人の手によって東海地方、東京へと流通していた。

多くの日本人が着物を着た明治く大正時代には郡内地方全域で織られた。

表1 大正時代の機織り（大正2年）

項目 地区	戸数	機業戸数	手織機数	甲斐絹	紬
大石	269	250	270	一疋	1697疋
河口	241	32	32	25	30
小立	373	180	190	1,100	30
船津	400	152	160	950	40

ている。その頃、河口地区を除けば大石、小立、船津では水稲耕作は行われず、耕地の大半は畑であった。大石地区の人々は増水を避けるように山畑に桑を植え、繭を売って養蚕経営を広げた。「紬」の生産量については大正二年の地区別「紬生産」、手織件数、戸数を知ることができる（表一）。大石地区が際立っており、生産の中心である。

「大石紬」の伝承について唄があり「大石娘小唄」が知られている（『五湖文化』昭和十六年編・資料1）。これは昭和初期の農村自力更生運動の一環として男女青年を中心として奨励された唄である。

大石地区には「大石女に河口男」というやし言葉が残っている。意味は大石の女性たちは紬織りのため色白の人が多く、女性の理想的な姿だと。それほど大石では女性による手織りが

資料1

「大石娘機織小唄」

- (一) わたしやかたぎな大石娘
かたぎくで夜も日もおくる
ヤーレ、チャンカラく、カラカラリン
さつても堅気の器量よき
ホーイ、ホーイ、ホイくく
- (二) わたしや機織大石娘
箆を相手に夜も日もおくる
ヤーレ、チャンカラく、カラカラリン
さつても紬のあたたかさ
ホーイ、ホーイ、ホイくく
- (三) わたしや郡内大石娘
富士を眺めて夜も日もおくる
ヤーレ、チャンカラく、カラカラリン
さつても心の清らかさ
ホーイ、ホーイ、ホイくく

盛んだった。

平成二十一年（二〇〇九）、伝統工芸品である「大石紬」の紹介は、全面改装された「大石紬伝統工芸館」で行われ、古（いにしえ）の技法を今に伝承し、紡ぎ、手織り、染色用具などの展示、紬製品の販売、そして機織り体験教室を行っている。

また、養蚕事業も大石紬組合員の指導を受けながら行なっている。

（文化財審議会委員 流石朝之）

【参考資料・出典】

『大石の民俗』（山梨県史民俗調査報告書）

平成十一年

『五湖文化』昭和十六年

「大石伝統工芸館展示解説」



〈地域社会活動と地域ボランティア活動〉 ～広げようネットワークの輪～

富士河口湖町女性交流センター

みずうみ通信



住民文化ボランティアの温かい気持ち
が河口湖ステラシアター・河口湖円形ホ
ールを支える

●ホールボランティアの成り立ち

河口湖ステラシアター 野沢藤司

平成七年五月にオープンした河口湖ステラシアターと、その前年の十二月にオープンした河口湖円形ホールは、当初から主に運営面を活動領域に関わっていただく文化ボランティアとして町民の方々と一緒に約十六年間で、町の魅力を発信する中心施設として様々なコンサートなどの事業に取り組みで参りました。オープン当初ステラシアターは、現在のように可動式屋根はなく、雨天時の観客の対応なども一生懸命に、真摯に受け止めていただき、一人一人丁寧に接客をこなしていただきました。平成七年七月に行われた森山良子さん、玉置浩二さん司会によるステラシアターオープニング企画「サマースペシャル・ポップスコンサート」が初めての業務となり約三十名のボランティアスタッフの方が、ステラシアターの意義を受け止めて関わっていただきました。オープンिंगなのでそこに関わる出演者やスタッフ全員が初めてのことであり、きつとお客様からのご指摘もあったと思われるが、スタッフ証を胸につけて、施設内トイレなどの場所も覚えないうちに業務についていただき、ひたむきに一生懸命に業務に就いていただいていたことが今でも鮮明に覚えております。

●ステラシアターサポーターズクラブ

への組織化、ホールボランティア
としての進化

平成十年五月には、それまでの動きを発展的に組織化し、『ステラシアターサポーターズクラブ』として新たな気持ちで取組みをスタートいたしました。小佐野昭二会長はサポーターズクラブ組織化以来ステラシアターにはほぼ毎日足を運び周辺の環境整備まで気にかけていただいております。組織目標として「出演者他関係者や観客の皆さんに対するもてなし」を更に充実させていくために、毎年六月ごろコンサートが開催される前に、ステラシアター入口周りの草取りや花植などを行い、また、チケットもぎり、チラシ配布や場内案内などを具体的な接客方法など都内の専門家を招き、毎年新人社員研修のように案内技術を磨き業務につくような形を取っております。一通りのシーズンが終わった年度末には、それまでメンバー一人一人が対応してきた経験を各自で検証していただく意味も込めて、都内の主要なコンサートホールで研修会を行うようにし、その際は、チケットを各自で持ち、ホールレセプションストからチケットをもぎられ、案内をされながら客席に着き、コンサート鑑賞するようにしており、その反省が翌年度へとつながっております。

(以下次号につづく)



●サポーターズクラブの一員として

船津 小林那津子

思えば十年前程前の事、ある会合の席で小佐野会長からステラシアターズクラブへの入会のお誘いを受け、友達三人で入会しました。最所は、チラシ折込と配布、開場時のチケットのもぎり、会場案内や、お客様への対応、さらに終演後のアンケート回収、片付けと掃除、実にめまぐるしく戸惑うばかりでした。しかし、先輩のアドバイスを受け、研修を積むうち、あつという間に十年が過ぎていました。

夏の暑い日の音楽祭には、佐渡裕先生の汗まみれの指導に感動、常連の森山良子さん、イルカさん等多数の出演者からは、元氣と励ましを戴き、楽屋裏での笑顔に接すると、「ああ、満足して下さったのかな」と自己評価をしたり、食事係りの人達が汗を流し心をこめて作ったカレーを出演者・裏方・皆で同じ食事を頬張る時は、ホッとひと息つき談笑をし、そして又持ち場へと戻っていくのです。

終演後の片付けを済ませ、時には出演者との打ち上げ会もあり、見聞を広げる有意義なチャンスとなります。定年を過ぎた私たちにとって、このような活動の場を提供して下さることに感謝しつつ働かせて貰っています。

ステラシアターを通じて、富士河口湖町の文化の発展の一翼を担っているのかなと思うことが平成二十一年度であり、それはサポーターズクラブに「山梨県文化賞奨励賞」受賞という快挙でした。この時期にメンバーとしていられたのは名誉なことだと自負しています。

年の瀬には、皆が一同に集う納会があり、年に一度会員相互親睦を深める研修会もありと、充実したボランティアだと思えます。

最後にこれからも体の続く限り、携わっていきたいと思っています。

富士と湖の 自然をみつめて

Nature in and around Mount Fuji



富士山麓の自然 梨ヶ原でフクロウとハギマシコが見つかりました

1月号で、ケアシノスリが梨ヶ原で2010年12月までに何回も目撃されたと書きましたが、2011年になっても1月2日に目撃され、梨ヶ原で冬を越しているのではと推測されました。一方、同じ猛禽類でも夜行性で昼間姿を見せることはほとんどないと思っていた「フクロウ」を12月26日に梨ヶ原で見ることが出来ました(写真)。遠くからフクロウ型の鳥が電線に止まっているのに気づき、車でゆっくり近づいたら写真が撮れるかもしれないと、車に乗ったまま窓を開けて撮影したのがこの写真です。

初めての体験に興奮して30枚程シャッターを切り、車から降りて近づこうとしたら飛び立ちアカマツ林に消えました。まぶしように目を細めながらも周りを見渡し、ネズミなどの獲物を狙っていたようでした。後から考えると、夜でも獲物の動きがわかる大きな眼と羽音を立てずに飛べる羽毛をもつフクロウが、夜に餌がとれずにお腹を空かしていたのではと思い、邪魔をしてしまい申し訳なく思っています。

また、1月2日には草原でまとまって餌をとっている鳥の大群が見つかり、飛び立ったり地上に降りたりを繰り返していました。冬にこんな大群をつくる鳥は何だろうと思いつつ、餌をとる姿や富士山をバックに逆光の中を飛ぶところ(写真)など夢



中で撮影しましたが、2分後には遠くへ飛んでいってしまいました。後日写真を確認したらハギマシコというベニマシコに近い冬には群れをつくる鳥で、長野県などの耕作地帯では数～数十羽で時々見られるようですが、富士山麓での記録は少なかったようです。特にこの日は240羽以上の大群で、1月10日に再び見られた大群も100羽以上で、このように多くのハギマシコが富士山麓で見られるのは珍しいと思います。

これまで地上に巣をつくるとは考えられなかったカヤネズミが、いつ地上に巣をつくるかを調べる目的で、毎週のように梨ヶ原に調査に入っています。カヤネズミの巣はまだ見つかっていませんが、副産物として梨ヶ原が様々な鳥たちの大切な越冬地でもあることもわかりました。様々な動物たちの、繁殖地のみならず越冬地としての富士山の環境の大切さを改めて見直して行きたいと思っています。

河口湖フィールドセンター周辺の自然 見事なキンテンが撮影されました

ほ乳類の多くは夜行性で姿を見る機会は大変少ないので、どのようなほ乳類が住んでいるかを調べるのに自動撮影カメラがよく使われます。数年前に東京農工大学の大学院生と一緒に河口湖周辺のイノシシ調査を行った時に、赤外線センサーでシャッターが落ちる自動撮影カメラを使ったことがありました。当時はフィルムカメラで、赤外線センサーも落ち葉や日光の反射にも反応したりして、1週間ごとにフィルムを替えて現像してもイノシシが写っていないことがほとんどでした。イノシシも頭が良く、撮影された所は二度と通らない、三脚にセットしておくとか何だといわんばかりに近づいて威嚇する様子を撮影できてもそれっきり、といった状況でした。

近年デジタルカメラに変わってフィルム代は節約できるようになったものの、シャッターのタイムラグが大きくなかなか写らないという状況でした。昨年末ようやく赤外線センサーが2個ついてシャッターのタイムラグが少ないタイプが発売され、新型の自動撮影カメラの性能をみると同時に、河口湖フィールドセンターの水場をどのような動物や鳥が利用しているかしようと、水場の近くに設置してみました。そしたら、その日の夜に水を飲みに来た冬毛のテン(黄色が見事なのでキンテンと呼ばれる)が撮影されました。その9日後にも撮影され、時々利用していることが判りました。小型の鳥類には反応しませんが、ヒヨドリやキジバトくらいの鳥だと反応することが判りました。今後これを有効に使って、様々な場所の動物調査を行いたいと考えています。



ショート・ニュース

○2011年1月7日に放映されたBSフジの番組で、船津胎内神社が紹介されました。

○2月中旬に、環境NGOアースウォッチのメイン・サポーターで、イギリスに本社があるHSBC(ザ・ホンコン・シャンハイ・バンキング・コーポレーション)のCSR担当者が富士山麓の視察に訪れる予定です。

ご意見・ご質問は、TEL 0555-72-4331 (FAX 72-4341) 河口湖フィールドセンターまで



インフォメーション
INFORMATION

募集

冬の室内ボート大会

「インドアローイング河口湖大会」参加者募集
ボート競技を室内で体験できるマシーンを使
って大会を開催します。

初心者大歓迎！ 明日の国体選手は君だ！

■開催日 3月13日（日）午前10時～

■会場 富士河口湖高校

■内容 ボートの室内マシーンによる大会

■参加料 無料

■参加資格 小学5年生～中学3年生まで

■定員 30名（定員になり次第締め切ります。）

●申込・問合先 山梨県ボート協会

TEL 73・1220

郡内地域産業振興センターから

～みんなの手芸展～

郡内地域のクラフト愛好家グループによる作
品展を開催します。手芸体験教室も行います。

■開催日時 2月19日～27日（21日は休館日）

午前9時～午後5時（最終日は4時）

■出展作品

染め物、編み物、パッチワーク、
絵画、切りえ、押し花、陶芸など

■開催場所

郡内地域産業振興センター2階

～麦の穂展～

富士北麓地域にある障がい者福祉施設の皆さ
んの作品展。努力を重ね創り出した陶芸、心を
込めて制作したアクセサリーや手芸など心あた
る作品を展示し、販売も行います。

■開催日時 開催中～3月9日まで（月曜休館）

午前9時～午後5時

■参加施設

富士桜作業所、ありんこ、河口湖
ハーバル工房、富士聖ヨハネ学園、富士吉田

市地域福祉交流センター、スイートベリー
KATSUMAMA

■開催場所 郡内地域産業振興センター1階

■入場料 無料

●問合先 郡内地域産業振興センター

富士吉田市上吉田22773

TEL 24・4406

北原ミュージアム「Happy Days」

～3周年記念 町民入館無料デーのお知らせ～

■期間 3月1日（火）～4月3日（日）

■対象 富士河口湖町の町民の方

※入館の際の確認資料（免許証・保険証・町民
優待カードなど提示して下さい。）

※未就学児童、小中学生は、保護者同伴でご入
館下さい。

※ご入館いただいたお客様は、期間中に隣接す
るハッピーデイズ・カフェをご利用いただく
際、飲食代金より10%割引となります。

●問合先 河口湖北原ミュージアム

Happy Days

TEL 83・3220

賃金・退職金セミナーのご案内

～労使の信頼感を増すために～

企業からの相談・対応事例等を踏まえてわか
りやすくアドバイスします。

■日時 3月8日（火）

午後1時30分～4時30分

■場所 山梨県自治会館 甲府市

■内容 講演「労使の信頼を生む賃金制度」

制度説明「中小企業退職金共済制度」

法説明「改正 次世代法について」

■費用 無料（要申し込み）

●問合先 山梨労働局

TEL 055・225・2854

第16回中小企業組合まつり

■日時 3月13日（日）午前9時～午後4時

■場所 アイメッセ山梨 甲府市

■テーマ 「不撓不屈」（ふとうふくつ）

■内容 組合及び組合員の商品やサービスの
展示・提供、特産品の販売、地域資
源の活用、農工商連携による活性化
事例の紹介、食関連の体験型イベン
トの開催など

●問合先 山梨県中小企業団体中央会郡内支所

TEL 0555・22・2166

県立都留高等技術専門学校

○訓練生募集

【OAビジネス科・電気システム科】

■訓練期間 4月～23年3月（1年間）

■応募資格 高等学校を卒業した者（3月卒業見
込み者を含む）で、概ね35歳以下の

求職者

■申込 2月18日まで ■選考 3月2日

【機械科・服飾科】

■訓練期間 4月～9月

■応募資格 求職者（ハローワーク登録者）

■申込 2月23日まで ■選考 個別通知

※4科とも入学科・授業料は無料。テキスト代
等は自己負担。

○在職者訓練

Ⅱ新入社員講座Ⅱ

■日程 4月4～5日 午前9時～午後4時

■対象者 主として新卒の新入社員の方

■受講料 1000円（別途テキスト代）

●問合先 県立都留高等技術専門学校

TEL 0554・43・8911
FAX 0554・43・8912



NHK学園専攻科 ～通信教育～

「コミュニティ・ボランティア専攻」

認知症の理解、地域福祉、児童福祉、介護等多彩な科目を1科目から学べます。

■出願期間 2月1日～3月22日

※その他、様々な科目課程があります。案内書の請求、質問はお気軽に。

●請求・問合先 NHK学園高等学校専攻科

TEL 042・572・3151

<http://www.n-gaku.jp>

山梨県環境科学研究所から

富士山自然ガイドスキルアップセミナー

富士山の自然に関するインタープリテーションに役立つ科学的基礎知識を学びます。

○第6回セミナー「火山としての富士山・1」

富士山の成長史、その1

～富士山の成長の歴史を概観～

■日時 2月19日(土) 午後1時30分～

○第7回セミナー

富士吉田剣丸尾アカマツ林の二酸化炭素吸収量とタワー観測で何が分かる？

■日時 2月26日(土) 午後1時30分～

●山梨県環境科学研究所総務課 TEL 72・6211
きのこ植菌に挑戦

■日時 3月12日(土) 午後1時～4時

■対象 県内在住・在勤の小学生以上

■定員 50名(昨年参加者は応募不可)

■内容 講義「きのこの生態や植菌について」
体験活動「ヒラタケの植菌」

●申込・問合先 環境科学研究所

TEL 72・6203

富士吉田市上吉田5597-1

☆地上デジタル放送視聴のための低所得世帯への支援について

総務省では、経済的な理由で地上デジタル放送をまだ視聴できない低所得の世帯に対して、支援を行っています。対象となる世帯や支援内容は次のとおりです。

(1) NHK放送受信料が全額免除となっている世帯への支援

【支援の対象】 まだ地上デジタル放送に対応できず、

①生活保護などの公的扶助を受けている世帯、

②障がい者がいる世帯で、世帯全員が市町村民税非課税の世帯、

③社会福祉施設に入所している世帯のいずれかに該当し、NHK放送受信料が全額免除の世帯が対象です。

【支援の内容】 地上デジタル放送対応の簡易なチューナー(1台)を無償給付し、対象世帯を訪問してチューナーの設置を行います。アンテナ改修等が必要な場合は無償で工事を行います。

(2) 市町村民税非課税世帯への支援

【支援の対象】 まだ地上デジタル放送に対応できず、「世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯」が対象です。(※NHKとの放送受信契約が必要です。)

【支援の内容】 地上デジタル放送対応の簡易なチューナー(1台)を無償給付します。また、チューナーの設置方法や操作方法を電話でサポートします。(チューナーの訪問設置、アンテナ改修等は行いません。)

(3) 申込方法等について

申込書に必要事項を記入し、必要書類を添付して総務省 地デジチューナー支援実施センターへ送付してください。申込書は、インターネット・電話等で総務省 地デジチューナー支援実施センターからお取り寄せください。身近な公共機関やNHK放送局にも置いてあります。

●問合先 ○支援制度について 総務省 地デジチューナー支援実施センター

NHK放送受信料全額免除世帯への支援: 0570-033840、

市町村民税非課税世帯への支援: 0570-023724

○NHKの放送受信契約、放送受信料免除について NHK ふれあいセンター

NHK放送受信料全額免除について: 0570-000588、

NHKの放送受信契約について: 0570-077077

○企画課 0555-72-1129